

2019(平成31)年産用も一部
「備蓄種子」を供給します

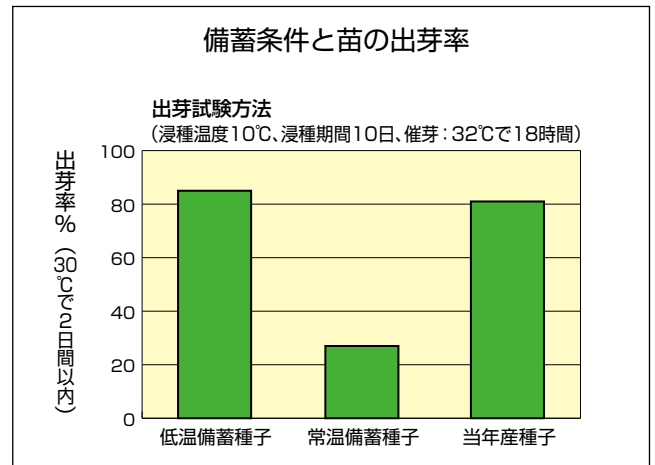
低温備蓄種子は 出芽率が安定しています

～発芽率(90%以上)を確認済です。安心してお使い下さい。～

低温備蓄種子は、休眠があげているため
当年産種子よりも出芽率が高い傾向にあ
ります。(図及び写真)

**低温備蓄種子の出芽率は高く安定してい
ます。**

(出芽試験は、通常の育苗と同じ 浸種→
催芽→播種(ポット)→出芽(育苗器)を
行い出芽率を調査したものです。)



図

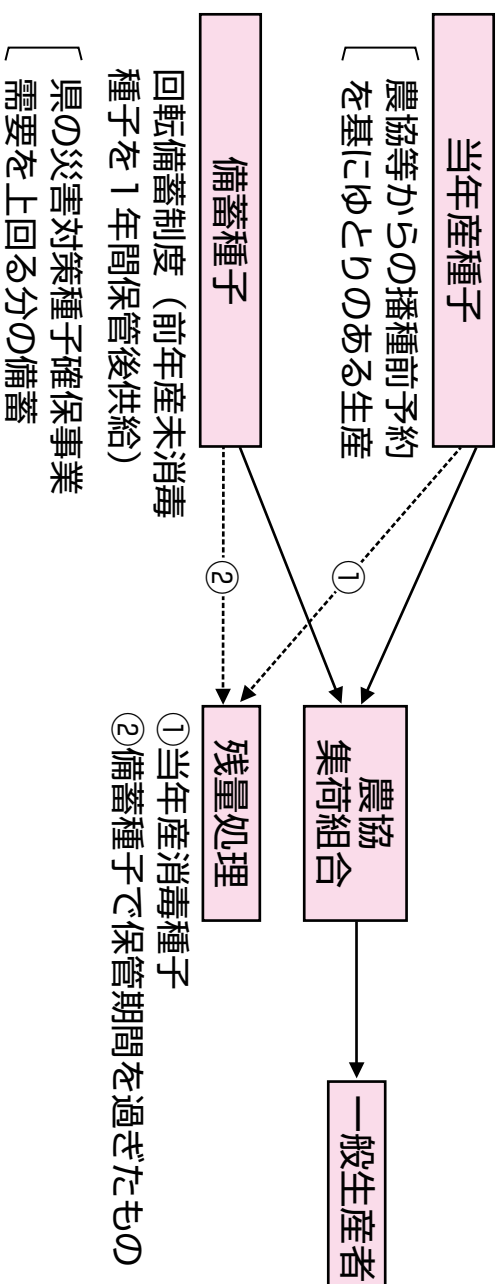


写真 出芽試験の様子(左から低温備蓄種子、常温備蓄種子、当年産種子)

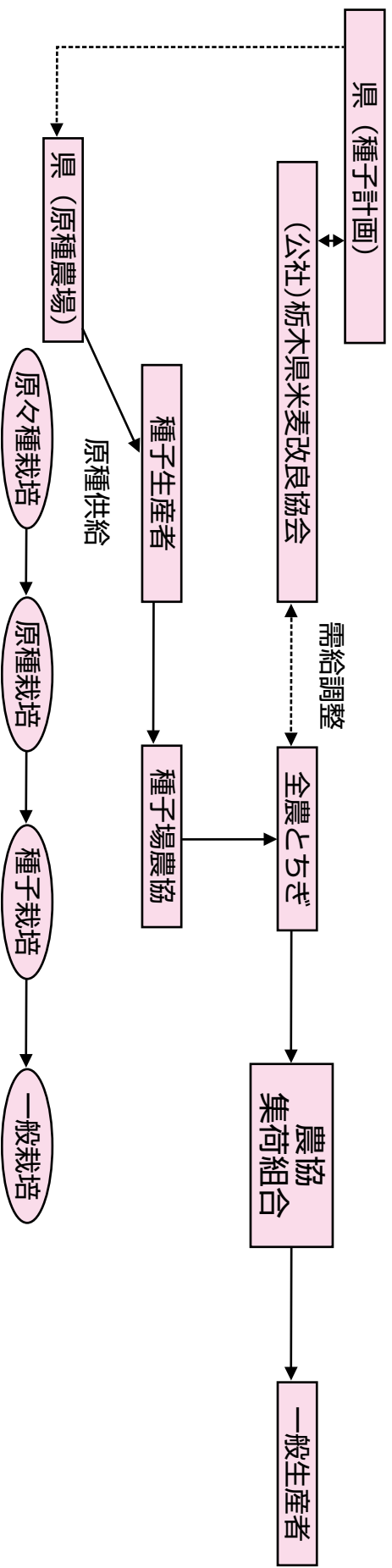
- 種子の安定供給のため一定の備蓄を保有しています。これらの備蓄種子は1年間低温保管し、発芽率(90%以上)を確認し供給しています。
- 薬液消毒用・温湯消毒用としても、発芽率等に問題はありません。安心して使用頂けますので、ぜひご使用ください。
- 品質向上と安定生産のために、県内採種ほ産種子による種子更新率100%を目指しましょう。

栃木県における種子の安定供給のしくみ（回転備蓄制度）

～生産者の皆様からの予約の精度向上と予約数量の引き取りが重要です～



稲・麦類及び大豆の生産・流通



※種子が生産されるまでには、原々種栽培から3年かかります。